

高二 ヨーロッパ修学旅行

後援会だより

発行者
学校法人東明館学園
東明館中学校・
高等学校後援会
会長 稲葉武彦

Contents	
高一修学旅行報告	1
中三修学旅行報告	2
懇親会レポート	4
全高P連大会報告	4
キャリアガイダンスレポート	5
各委員会報告	6
後援会年間スケジュール	6
今、みなさんに伝えたい	6



修学旅行を終えて

高二保護者

幼い頃からマイペースで、たとえ周囲が騒がしくても気にせず、わが道を行く。修学旅行はもう目前なのに……と視線を送る私から逃げるようにしていた娘も、やっと準備を始めたかと思ったら、「私、ホームシックになるかも……」と、思いがけない弱気な発言に私は動揺しました。今年も暖かいせいか、この時期になってもインフルエンザの

流行もなくひと安心。また、日本シリーズ進出を出发2日前に決めてくれたソフバンクホークスのお陰で、集合場所のシーホーク周辺の混雑も取り越し苦労に終わり、万全の状態に送り出せると思っていたのに、娘のひと言に心配でたまらなくなってしまう

成長を感じる旅

そして出発当日。気持ち盛り上げようと、旅行のテーマを尋ねると、「おいしいものを食べ尽くし、かわいいものを探す。色々見てくるから」、そう言って娘はクラスメイトの輪の中へ入っていききました。出発してからも、家族の話題は娘のことばかりでした。行程表を見ながら時差を計算し、「今は〇〇を見学している頃」、「今日の食事は苦戦しているだろうな……」、「何も連絡してこないけど、便りのないのは良い便りよね?」などと、あつという間の一週間でした。

「修学旅行も終わっちゃったし、あと楽しいことは体育大会だけか……」と娘。1年後、そして卒業式、どんな成長を見せてくれるのか今から楽しみです。最後に、活発な23期生を引率して下さいました先生、添乗員の方々や現地の様子をHPにアップして下さい下さった皆様、心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。



出発式でのサプライズ!

シーホークホテルで行われた出発式には、生徒達が搭乗する日本航空のパイロット・副操縦士・CA(キャビンアテンダント)の3名の方がサプライズ・ゲストとして登場されました!

制服姿の凛々しさ、立ち振る舞いの美しさに生徒達も惚れ惚れの様子で、ヨーロッパへの思いが一気に膨らむことに。

ゲストの方からは、それぞれの業務内容の説明や専門分野の話をお聞きしたり、機中から見える風景を気象や地理の知識を交えて解説していただいたり、生徒達のボルテージは上昇。その後の質問タイムでは次から次へと手が挙がり、ゲストの方との活発なやりとりへと続きました。

- ◆仕事のやりがいは、どんなことですか?
- ◆気圧の変化を受け続ける仕事ですが、身体に何か影響を及ぼしますか?
- ◆(最近女性パイロットもいると聞いて驚いた男子生徒からは)では、逆にCAの方の中に男性はいるんですか?

一はい、いますよ。お待ちしております。(この話を聞いた東明館高校第23期の男子の中から、将来のCAが誕生するかも?!)

翌朝の出発を前に少々緊張した面持ちの生徒達にとって、このサプライズが和やかで楽しいひと時、そして心に残る素晴らしい「キャリアガイダンス」のひとつとなりました。





高2修学旅行を終えて

高2学年主任 田代 啓介

体感すること

はそういう生徒もほとんどいなかったことも生徒の体調管理の面ではよかったと思います。

高校の時の修学旅行は、人生の中でも最も思い出に残る旅であると言われます。日本を遠く離れ外国で初めて見たものや体験したことと同じ学年の友人と共有すること、特にTVや写真でしか見たことのない風景、美術や歴史の教科書に掲載されている美術品や建物を生で見るのができた感動は、一生の思い出になったことと思っています。

経験を糧に

今回の修学旅行では、今までのプランを見直すことで散策する時間を取り、生徒たちに実際の街並みを体感させ日本と異なる空気を感ずることができたことは良かったと思います。そして、これらの経験をこれからのグローバル化した社会を生きていくために、生徒たちが糧にしてくれることは間違いのないと思います。



また、食事も過去に私が引率した中でも一番美味しく、今まではほとんど食べられなかった生徒もいたのですが、今回の修学旅行で見ると、その空気とは肌で感じるの、日本と違う空気が、うまく表現できませんが、その気候的なものから、目で見る風景や街の雰囲気まで様々なものを含んでいます。そのことを体感できたことも生徒たちにとってよかったと思っ

ています。学校の地理の授業で西岸海洋性気候について学んでも、同じ温帯に属する日本の温暖湿潤気候とどう違うのかを机上で学ぶことと実際にその違

いを経験できることは大きいと思います。例えば、西岸海洋性気候はブナ気候と別称されますが、それを実際に目で見たら、日本と同じ晩秋でも紅葉の色が違うことで植生の違いや日本より湿度が低いことを体感できたこと、また景観の規制が徹底しているため、日本では当たり前に見られる電柱がないことや建造物をはじめ文化財に対する意識の違いなど、日本との違いを感受性が豊かな時期に体験することで「知識」が「教養」としてより深く刻まれたのではないのでしょうか。

日次	行程
<18日> 11/7 (月)	ヒルトン福岡シーホークホテル集合 19:00 出発式・諸注意 (ホテル泊)
<2日目> 11/8 (火)	福岡から いざヨーロッパへ 福岡07:15発→成田→ロンドン16:20着 (1・3・4組) 福岡07:55発→成田→ロンドン15:15着 (2・5組) (ロンドン泊)
<3日目> 11/9 (水)	オックスフォード・ロンドン見学 クライストチャーチ/モードリン・カレッジ/ラドクリフカメラ/マートンカレッジ見学後はロンドンにてショッピング→ロンドンに戻り、タワーブリッジ周辺散策 (ロンドン泊)
<4日目> 11/10 (木)	ウエストミンスター寺院・ビッグベン周辺見学 大英博物館見学 ロゼッタストーン、ミイラなどを見学、ロンドン三越にてショッピング(ロンドン泊)
<5日目> 11/11 (金)	ホテル出発→ユーロスターにてパリへ 着後 パリ市内見学 オペラ座、コンコルド広場、シャンゼリゼ通り、凱旋門、エッフェル塔、夜のライトアップ見学 (パリ泊)
<6日目> 11/12 (土)	ルーブル美術館見学、パリ市内自主研修 (パリ泊)
<7日目> 11/13 (日)	ヴェルサイユ宮殿見学 昼食後、空港へ パリより帰国の途へ パリ18:05発 (1・3・4組) パリ17:55発 (2・5組) (機内泊)
<8日目> 11/14 (月)	成田着14:15→成田発19:50→福岡着21:55 (1・3・4組) 成田着15:40→成田発16:55→福岡着19:05 (2・5組)

ロンドン・パリ修学旅行日程表



シンガポール 修学旅行



思い出に残る 修学旅行

中3保護者

娘にとって初の海外旅行。というわけで、今年に入った頃から我が家の姉妹は「シンガポールめっちゃ楽しいらしいよ」、「自分だけずるーい」、「お土産は〇〇がいい」と大騒動。

パスポートを取らないといけなかったけど、中体連後の真っ黒に日焼けした顔、しかも皮がむけ始め、こんな顔で写真撮りたくない、でもタイムリミットが迫っているし、やむを得ずまだら黒のまま写真撮影に臨むことになりました。おまけに白い歯を見せてしまい、仕上がった後に写真屋さんから「本当は証明写真は笑ったらいけないんだけど」とダメ出しされる始末。

という具合に、出発前から波乱の予感が漂っていました。異文化に触れる

旅行当日空港へ向かう路、予想外の渋滞から抜け道に入りさらに渋滞、身動きが取れなくなり、皆様には大変ご心配とご迷惑をおかけしました。娘もさぞかし不安だっただろうと申し訳なく、自分の見通しの甘



さ、準備の悪さを猛反省しました。初日からこんな具合だったので、シンガポールでの娘の様子がとても気になっており、元気な姿を見た時にはホッと胸をなで下ろしました。大きなマライオン、カラフルな建物、突然のスコール、珍しい食べ物、異文化に触れ刺激を受ける反面、自分達とあまり変わらない顔立ちの人、飛び交う日本語に日本にいるような錯覚を覚える瞬間もあつたようです。現地の中生との交流では、交流校のすばらしい演奏に聴き入り、練習してきた演舞と花笠音頭を無事披露した後、片言の英語での交流を楽しめたようです。仲良くなった生徒さんとメルアドの交換もしていました。友情を深めて

友情を深めて

ナイトサファリでは、奥にいる水牛に見入って、自分のすぐ横に別の水牛がいるのに気づかず慌てる一幕もあつたようです。友達と異国の地で寝食を共にし、助け合い、さらに友情を深めた様子です。こんな素敵な体験ができたのも、今回の旅行を企画、運営して下さった先生方、旅行会社の皆様のお陰だと深く感謝しております。ありがとうございました。

中3修学旅行を終えて

中3学年主任 藤江 哲男

去る10月18日、25期生(中3)が待ちに待った「修学旅行」が始まりました。思えば、この日を迎えるまでに、生徒たちは「卒業論文」という名の苦行(?)に四苦八苦し、教員からは「卒業論文を提出しなければ修学旅行には連れて行かない!」と脅される毎日を送っていました。とはいえ、25期生84名を乗せた飛行機は、初めて訪れる海外の国に対する彼らの大いなる期待と、心もとない英語力への漠たる不安を乗せて、シンガポールへと飛び立ちました。



熱帯ならではの体験

チャンギ空港を出た途端、まとわりつくような湿度と暑さに包まれ、熱帯にきたことを実感しました。バスの車窓から見たシンガポールは、高層ビルが立ち並び、経済成長を続ける新興国のイメージそのままでした。車内では早速カメラを片手に目を輝かせて窓の外を眺める生徒たちの姿がありました。



翌19日はシンガポールの市内観光。「マーライオン」とのご対面に始まり、チャイナタウン、リバーボート(川下り)を体験しました。道中激しいスコールに見舞われ、私もずぶ濡れになりましたが、「これも熱帯ならではの経験だ」と



と生徒に強がるのが精一杯でした。続く20日は隣国マレーシアを訪れ、伝統の染め物(バティック)を体験。その後はモスク(イスラム寺院)やスルタン(王族)の宮殿を見学しました。再びシンガポールに戻った一行は、リゾートの島「セントーサ」へ。夜は海辺で「ソング・オブ・シー」(水と光と歌のショー)を観賞し、あまりの美しさに生徒は大感激でした。



21日、今回の旅行で最大のイベントである学校交流がありました。相手校の「Nan Hua Secondary School (南華中学)」は、シンガポールでも三指に入る進学校です。交流会では、相手校が伝統的な「琴」の演奏を行い、本校も3クラスがそれぞれ「J-POPダンス」や「花笠」、「演舞」そして「ソーラン節」を披露しました。旅行前の短い期間で各クラスが必死に練習した成果をいかんなく発揮し、相手校の反応もとても良かったように思います。その後もスコール(バスケットボール)交流で汗を流し、一緒に昼食会をする中で、いつの間にか本校の生徒が未熟な英語を駆使して相手校の



生徒と会話をし、自然と交じり合っていく様子が見られました。「英語を活用し、意思伝達の実践を試みる」というこの旅行の目的が達成された場面として、強く印象に残っています。

日本が世界に誇れるもの

短い旅でしたが、生徒にとつては視野を広げる大切な機会になったと同時に、25期生の学年の団結力が更に強まった5日間でした。初めて外国を見て、改めて「日本の良さ」に気付いた生徒も多かったように思います。



〈シンガポール修学旅行日程表〉

日次	行程	日次	行程
〈1日目〉 10/18 (火)	福岡空港からいざシンガポールへ 福岡10:15発→シンガポール15:25着 (シンガポール泊)	〈3日目〉 10/20 (木)	マレーシア・ジョホールバル見学、王宮博物館見学、バティック絵染め実習、セントーサ島見学、アンダー・ウォーター・ワールド、イメージ・オブ・シンガポールなど (シンガポール泊)
〈2日目〉 10/19 (水)	シンガポール学習会 ・シンガポールの発展と日本企業の活躍に関して 日本旅行シンガポール社長からシンガポールの概要と注意事項 シンガポール市内見学 マーライオン、チャイナタウン、リバーボートなど下車見学(シンガポール泊)	〈4日目〉 10/21 (金)	NAN HUA SECONDARY SCHOOL との交流 写真撮影・歓迎レセプション・文化交流・パティ交流 オーチャード通りで自主研修、ナイトサファリ見学 シンガポール国際空港へ (機内泊)
		〈5日目〉 10/22 (土)	シンガポール01:00発→福岡08:10着 福岡空港着後、解散

懇親会レポート

東明館では、保護者間の親睦を深めるための懇親会が、先生方もお招きして行われています。新年度が始まるとともに行われるクラス懇親会、春から夏にかけて各地区別の懇親会、そして秋には学年懇親会が開催されています。クラス・学年懇親会には担任の先生方が、地区懇親会には管理職の先生方も出席してくださいませ。

懇親会では、先生方から子ども達の学習状況や学校の

様子をお聞きすることができ、また保護者同士、あるいは先生方と保護者とが理解を深め、信頼関係を築く機会となり、それが子ども達をサポートするためのよりよい環境づくりに繋がっていきます。

学年委員・クラス委員・地区委員はそのために様々な趣向をこらして懇親会を企画しています。

今回は秋に行われた各学年の懇親会の様子をレポートいたします。

中一学年懇親会

期日 平成23年10月22日(土)
会場 チサンホテル博多

学年委員の佐野さんと、尾形さんにより、保護者同士がより親睦を深めることができるようにと心をこめて手作りされた式次第、子ども達の顔写真入り参加者名簿と、名札を受けとり、和やかに会が始まりました。

学年主任の田中先生の若さあふれる挨拶では、子ども達に対し、優しく、熱意を持って、一人一人に丁寧に接し、ご指導いただいていることが伝わり心温まる思いでした。



保護者の方からの自己紹介では、各家庭でのエピソードや気になっていたり、ソードや気になっていたり、などを臨場感あふれる表現でお話ししていただきました。それに對し皆さん、共感したり、刺激を受け参考にしたりと、クラスの枠を越え、先生方とコミュニケーションを深めることができました。

次回の懇親会の開催を期待している人が多いのではないかと思わせるほどの、大変有意義な会でした。

中二学年懇親会

期日 平成23年10月8日(土)
会場 ホテルマリタール創世

今年の学年懇親会は、担任・副担任の先生方及び後援会より稲葉会長・廣田副会長のご出席を賜り、保護者27名、合計35名の参加がありました。虎取監事の開会の言葉、先生方及び稲葉会長のご挨拶、廣田副会長の乾杯と続き懇親会の幕が開きました。



今回はゲストとして東明館学園第4期生であり、現在弁護士として活躍の富永孝太郎先生をお招きしました。先生のプロフィール、大学受験の思い出や後輩へのアドバイスなどをお話しいただきました。

学年の保護者の全員、座席をくじ引きで決めましたので、様々なクラスの保護者の方々と歓談でき、交友の輪が広がりました。

来年は中学最後の学年です。より多くの皆様のご参加をお待ちしております。

中三学年懇親会

期日 平成23年11月12日(土)
会場 ハイネスホテル久留米

今回の学年懇親会では、内田先生に撮影、作成していただいたシンガポール修学旅行のDVDを上映し、和やかに観覧いたしました。



幼稚園や小学校の頃と違って中学生ともなり、親が学校に向くことも少なくなり、また、子ども同士が交流を深める場合も親同伴での行き来もなくなり、同級生の保護者の皆様と親睦を深める機会がなかなかありません。

この会をきっかけに、多くの保護者の方々と知り合いになることができ、また、DVDを観ながら、子ども達の成長を確認出来たのではと思われたひと時でした。

是非機会がありましたら、よりいっそう、親睦を深める為に、どうぞ保護者の皆様、懇親会にご出席いただければと思います。

高一学年懇親会

期日 平成23年11月5日(土)
会場 ハイネスホテル久留米

高校へ進学して初の学年懇親会となった今回は、今年卒業された生徒さんの保護者の方をゲストにお招きして開催されました。



受験に対する親としての心がまえや、具体的にいつ頃から受験を意識して勉強を始めたのか等の保護者として知りたい情報をインタビューと質問形式でお答えいただきました。また、受験以外の学校生活や部活動との両立等を時にはユーモアを交えながら詳しくお話しいただき、同じ保護者として大変有意義な楽しい時間となりました。

また、学年主任の福島先生をはじめ、ご参加いただいた9名の先生方お一人ずつから24期生へ向けた温かく、力のこもったメッセージに、会場は大いに盛り上がり、これからの子ども達の学校生活に安心をされた保護者の方も多かったようです。

高二学年懇親会

期日 平成23年11月26日(土)
会場 博多都ホテル

今回の懇親会の目玉は、なんとと言っても「ヨーロッパ修学旅行のスライド上映会」。学年主任田代先生のユーモア溢れるナレーションと、ステキな音楽に乗せて、子どもたちの弾けんばかりの笑顔と、今にもスクリーンを飛び出してきそうな明るく元気な姿が！こうしてお友達と素晴らしい思い出を作りながら成長していくのだと感じた楽しい時間でした。



先生方からは、この学年の子ども達が東明館生としての自覚が強まり、何事にも頑張っていることをお聞きし、大変嬉しく思いました。これから来年の体育大会へ向けて、ぶつかり合いを繰り返しながらも一つにまとまっていくこと。その後の大学受験では、きつと頑張りがけいてくれるだろう！とのお話に、期待と共に身の引き締まる思いでした。「受験は団体戦です」とのお言葉に、保護者も一致団結して子ども達を応援していきたいと心を熱くしました。

第61回全国高等学校PTA連合会大会 北海道大会報告

日時 平成23年8月24日(水) ~ 26日(金)
会場 北海道立総合体育センター

平成23年8月24日(水)から26日(金)にかけて、第61回全国高等学校PTA連合会大会が札幌市において開催されました。

当後援会から4名(稲葉、諸富、廣田、西川) 参加いたしました。

8月25日には開会式及び全体会が北海道立総合体育センター「北海きたえーる」で開催されました。その日の午後は7つの分科会に分かれ、発表・意見交換が行われました。私たちは札幌プリンスホテルで開催された特別第3分科会(高校生と食)に参加しました。



その他の後援会行事

佐賀県私立中学高等学校保護者会連絡協議会総会
日時 平成23年8月3日(木)
会場 グランテはがくれ

佐賀県高等学校PTA連合会
三神地区連絡協議会
指導者研修会
日時 平成23年11月25日(金)
会場 神埼市中央公民館

九州地区私学保護者会連絡協議会学校視察

日時 平成23年11月18日(金)
会場 本校



11月18日(金)、九州地区私学保護者会連絡協議会の皆さんが、学校視察のため本校を訪れました。学校からは森校長、新野副校長が学校紹介や教育方針についての説明を行い、また後援会からは廣田副会長始め7名の後援会役員が出席し、後援会の組織や活動内容について説明を行いました。

日私学保連および九州地区私学保護者会連絡協議会の新延会長はじめ、26名の視察団の皆さんには、本校の教育方針や生徒に対する熱心な指導ぶりや充実した後援会活動を十分ご理解いただき、また学校と後援会との強固な連携体制に対し、称賛のお言葉を頂戴いたしました。



キャリアガイダンス 保護者の皆様も大学の出張講義を受けてみませんか？ レポート

「キャリアガイダンス」って何？と思っていられる保護者の皆様も多いのではないのでしょうか？
本校では生徒たちが大学の出張講義を受けて、自分自身で目標を見だし、将来を設計する手助けをするために「東明館キャリアガイダンス」が実施されています。

キャリアガイダンス講演会
11月9日(水)

現在の大学を取り巻く環境について

講師 関西学院大学入試広報チーム
リーダー 二宮仁先生



「今日を君たちの『決断式』にしてほしい。」そんな言葉で、二宮先生のご講演は始まりました。来年の文理クラス分けを前にした高1の生徒を対象に、例年この時期行われているキャリアガイダンス講演会。文理選択や志望大学・学部を考えて行く時期に、実際の大学の先生によるアドバイスをいただける機会となっています。

二宮先生からは、文系・理系の違いや、その選択によって将来どういう職業に就けるかが変わってくるので、覚悟を決めて臨むべきだという厳しいお言葉や、高校と大学の勉強の難しさ・厳しさの違い、だからこそ「やりたいこと」でなければ続かない、この2年間で「オンリーワンの大学」を選んでほしいとお話がありました。

その後引き続き、高1・中3の保護者を対象にした講演が行われました。現在の大学が抱える問題点や昨今の不況、自然災害などによる日本の企業の雇用状況の大きな変化、その中で、今以上に高い能力を持った学生が求められているかと話され、子ども達には問題解決能力やコミュニケーション力、世界を俯瞰する力、そうした力を身につけられるよう親として後押しして欲しいと語られました。

終了後の質問タイムでは、震災による大学志願状況の変化や、最近の大学生意識の変化とその原因などについて、次々と質問の手が挙がり、我が子の将来を心配し、親としてどうサポートしていけばよいのか、真剣に考える保護者の方の意識の高さを感じられました。

子ども達と同じタイミングでこうした講演に参加できることは、保護者にとって今後子ども達をいかにサポートしていくか、そのための大きなヒントをいただける大変貴重な機会になったことと思います。

【中3保護者の感想】

- まだ中3なので大学については先の話だと思ってましたが、今日の話聞き、日々大学の情報は頭に入れておかなければならない事を実感しました。とても参考になりました。
- 今日は大変勉強になりました。一流大学が良い大学という認識でしたが、良い識見を学べる大学が良い大学だと思いました。
- 就職にまつわる現在の状況が大変良く分かり参考になりました。
- 二極化している学生さん方の様子、就職の現状等詳しく聞くことができ勉強になりました。このようなガイダンスを是非中学生にも聞かせたいと思いました。
- 将来のことを考える上で参考になりました。本日の説明会で特に興味を持ったのは、ジョイント・ディグリー制度です。子どもは将来公務員か税理士を目指しておりますので、2つの学部を卒業できるのは大変魅力的です。親としてもいろいろなのがアドバイスできるよう勉強していきたいと思えます。
- 入試の仕組みを知りたい。今日の内容は知っていることだったが、参加しないと具体的な内容がわからないので毎回参加したいと思えます。

【高1保護者の感想】

- 現在の受験事情、私学と国立の違いなどがよく分かり参考になった。「文理選択は自立の第一歩」という言葉が印象的で、いずれは自立して生きていくために今後も進路指導については親子で話し合う機会を持たらよいなと思いました。
- 少子化の影響でこれから10年後の就職等、とても参考になりました。大学を選択する上で将来どうすべきか、何をしたいのかを少しは考えて選ばないといけないと講演を聞いて思いました。昔と現在では、大学の入試等がずいぶん変わってきているのでとても参考になりました。
- 大学入試についての説明かと思いきや、ずっと先の就職のお話で少し驚きました。入試が済んでも大学での勉強の大変さが先生のお話から想像され、今の時代の就職の難しさを感じると共に大学選びの重要性を再認識しました。
- 昨年もこの説明会に参加させていただき、今の大学や就職の状況を聞き、改めて日々の学習や自立した行動が大切という思いを深めました。子ども本人が早く自覚し、高い目標に向けて頑張れるようにサポートしていけたらいいなと思います。
- 教養をみがぎ、しっかりした学生生活をおくらねば就職がない。今、専門職の仕事をしています。将来を考えるとやはり専門技術を身につけることは明るい未来があるような気がします。
- 大学の状況がよく分かり、まだ生ぬるい生活をしていることを反省しました。ありがとうございました。
- 大学の事でも知らない事が多く、今のままではいけないと反省をさせられました。キャリアガイダンス、とても参考になるのでこれからも参加させていただきたいと思いました。

平成23年 キャリアガイダンス 夏期実施スケジュール

今年はこのようなスケジュールで開催されました。

- 8/19 (金) ◆佐賀大学医学部大病院集中治療部 松岡 良典講師
「佐賀大学医学部学科紹介」(高2理系)
- 8/22 (月) ◆長崎総合科学大学 川添 薫准教授
「医療を支える臨床工学技士の現状について」(高2理系)
- ◆岡山理科大学経営学分野社会情報学科 山口 隆久准教授
「国際マーケティング」(高2文系)
- ◆福岡工業大学工学部知能機械工学科 溝田 武人教授
「変化球のびっくりを探る」(高1文系理系)
- 8/23 (火) ◆国際医療福祉大学 丹羽 敦准教授
地域作業療法学
「あの生活を再び、あの喜びを再び
～リハビリテーションにおける作業療法の魅力」(高2理系)
- ◆中央大学法学部 武智 秀之教授
(高2文系)
- ◆東海大学経営学准教授 元炳善先生
「バスケットボール実践、スポーツで学ぶ礼儀とコミュニケーション」(高1理系)
- 8/24 (水) ◆佐賀大学文化教育学部特別支援教育 中島 範子講師
(高2文系)
- ◆岡山理科大学ロボット工学分野 機械システム工学科 衣笠 哲也准教授
「ロボットって何?」(高2理系)
- ◆崇城大学工学部ナノサイエンス学科 八田 泰三教授
「未来社会に貢献するナノテクの研究と人材育成」(高1文系理系)
- 8/25 (木) ◆東海大学食品生物化学 井越 敬司先生
「発酵食品の秘密チーズ」(高1文系理系)
- 8/26 (金) ◆鳥栖税務署 「税について」(高1文系理系)

後援会役員会 日田咸宜園研修会報告



11月19日(土)・20日(日)、後援会役員とOBの15名が日田咸宜園を訪れ、研修会を行いました。

本校はその校名を、対馬藩藩校「東明館」に由来しています。藩校の礎を築いた豊後日田の儒学者広瀬淡窓は、「人材を教育するは善の大なるものなり」と高唱し、教育の機会をあらゆる人に与え、心の陶冶、個性の伸展を教育理念として塾舎咸宜園を設立しましたが、東明館はその教育理念を継承しています。

鋭い者も鈍い者も、必ず社会において何かの役目を持っている、それぞれの個性に応じ伸ばして行けばよいとする淡窓先生の教えは、まさに本校の教育方針の源と言えるでしょう。まだ歴史浅い東明館に、遠く江戸時代からの教えが脈々と継承されていることを知り、個々を大切にし自主性を尊重する本校の教育方針の素晴らしさと奥深さを再認識する旅となりました。

(広報委員長記)



講演会の詳細はこちら

携帯からも東明館HPの
連絡用掲示板がご覧になれます。

QRコードを利用するか、
下記のアドレスを登録して下さい。



<http://www.tomeikan.ed.jp/cgi-bin/MT/index.cgi>

平成23年度 後援会関係 年間スケジュール

4月	9日(土) 広報委員会 15日(金) 学年・学級保護者会 16日(土) 第7回役員会、広報委員会 23日(土) 広報委員会 26日(火) 佐高P連事務担当者会議 28日(木) 広報委員会
5月	6日(金) 会計監査 7日(土) 広報委員会 13日(金) 後援会だより第55号発行 14日(土) 定期総会・講演会、第1回役員会、歓送迎会、クラス委員会各専門委員会(総務、広報、文化体育)、地区保護者会
6月	8日(水) 佐高P連総会 11日(土) 広報委員会 16日(木)~17日(金) 第55回九高P連大会「沖縄大会」 25日(土) 広報委員会
7月	1日(金) 佐高P連三神地区連絡協議会総会懇親会 2日(土) 広報委員会 福岡地区保護者懇親会(ホテルセントラザ) 大牟田地区保護者懇親会(オームタカアテンホテル) 北九州地区保護者懇親会(パドドゥ・コトブキ) 9日(土) 第2回役員会、広報委員会 久留米地区保護者懇親会(ホテルマリタール創世) 小郡地区・筑後地区保護者懇親会(合同)(ハイネスホテル) 佐賀地区(鳥栖・基山)保護者懇親会(ホテルピアントス)
8月	16日(土) 広報委員会 23日(土) 佐賀地区(鳥栖・基山以外)保護者懇親会(マリトピア) 30日(土) 後援会だより第56号発行 3日(水) 佐賀県私立中学高等学校保護者会連絡協議会総会 6日(土) 文化体育委員会 24日(水)~26日(金) 第60回全高P連大会「北海道大会」 27日(土) 筑紫地区保護者懇親会(ロイヤルチェスター福岡)
9月	10日(土) 第3回役員会、文化体育委員会 17日(土) 広報委員会 25日(日) 学年、学級、寮生保護者会 制服友愛会 他県地区保護者会(学校多目的ホール)
10月	29日(土) 広報委員会 5日(土) 広報委員会 12日(土) 第4回役員会 18日(金) 九州地区私学保護者会連絡協議会学校視察(本校) 19日(土) 広報委員会
11月	19日(土)~20日(日) 咸宜園研修(日田) 25日(金) 佐高P連三神地区連絡協議会指導者研修会 26日(土) 総務委員会 29日(火) 広報委員会
12月	3日(土) 広報委員会
1月	28日(土) 総務委員会
2月	18日(土) 学年、学級、寮生保護者会 第5回役員会、文化体育委員会

「制服友愛会」の報告

文化体育委員長

9月25日(日)、「制服友愛会」を開催しました。

在校生の皆さんをはじめ、今年3月に卒業された多くの卒業生の方々の協力もあり、事前に集まった制服は、種類・サイズも豊富にかなりの数になりました。ご協力に感謝申し上げます。

さて、当日は開催時刻前より長蛇の列ができ、人数制限をさせていただきながらの開始となりました。初めての日曜日開催の授業参観・保護者会ということもあってか、会場にはお父様の姿もありご家族で来場された方も見られました。



今回の「制服友愛会」では、9万6千450円の収益がありました。これらは生徒会活動資金として全額寄付しております。ありがとうございます。

総務委員会の活動報告

総務委員長

総務委員会では、クラス懇親会等を通じ保護者の方々からいただいた要望を集約し、学校側へ報告してまいります。保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

要望については、まず各学年別に集約し、その後、11月26日(土)に、学年委員の総務担当者による委員会を開き、全体の集約を行いました。

この後、学校側から回答をいただき、2月頃、学級懇談会等を通じて、保護者の皆様へ報告する予定です。



お礼

生徒会長 O・S

生徒会へ寄付をいただきありがとうございます。文化体育委員会の方々に始め、後援会の皆様方にお礼申し上げます。生徒会活動に有効に活用させていただきます。



クラス委員によるアンケート集約

今、みなさんに伝えたい

～先生おすすめの本～



中島浩天先生 (国語) 推薦

『冬の鷹』

吉村昭

有名な「解体新書」にまつわる小説です。みなさんは「解体新書」の原本を見たことがありませんか。この本の最初に翻訳にかかわった人物の名前が4人並んでいるのですが、そこに前野良沢の名前はありません。学究肌で不完全な訳のままでは出版できないと主張する前野良沢は、西洋の進んだ医学を一日でも早く臨床の場に活かすことを考えて出版を急ぐ杉田玄白にどうしても同意することができなかつたのです。こういう場合、あなたならどうしますか？



「解体新書」原本



山下智志先生 (英語) 推薦

『14歳からの社会学』

宮台真司

中学生以後の皆さんに幅広く社会を知り、自分探しの役に立ち、今後の社会をいかに生きていくべきかを考えるための一助となるのではないかと、この本を勧めたいと思います。価値観が多様化し、時には社会の不安がささやかれる現在にあって、将来の社会を担う皆さんが、特に中学・高校時代に本書に書かれている様々な事柄をしっかりと考える機会を持つことが大切だと強く思います。

『プチ哲学』

佐藤雅彦

山下陽子先生 (理科) 推薦



恥ずかしながら、人に勧められる程、読書に親しんでいるとは言えませんが、



井原弘美先生 (体育) 推薦

『きみの友だち』

重松清

友だち探しに躍起になっている今の子どもたちに問いかけた。「友だち」って何だろう？ 「友だち」っていい方がいいのか、それとも親友と呼ばれる人が一人いればいいのか。「友だち」なんかいいから、とつづねる方がいいのか。友だちが「ある子を嫌いだ」と言ったら味方に付かないとハブられる…。誰とも仲良くしようとする「八方美人」だと言われハブられる…。良い子ぶろうとすると嫌われる…。でも：

周りのご機嫌を伺いながら過ごす日々どこか疑問を持つような様々な「友だち」たち。そういう複雑な「心境」を乗り越えさせてくれるような小説であり、「友だち」の意味を考えさせられる作品です。「メッセージ」たった一人、大切な友だちがいたら人生は豊かだと思おう。

教育相談だより

心の健康相談のお知らせ

毎週木曜日 10:00～16:00
電話によるご相談も承っておりますのでご利用ください。

林 幹男先生 (臨床心理士) 10:00～16:00	春日 由美先生 (臨床心理士) 10:00～16:00
1月 13日(金)・26日(木)	1月 21日(土)・28日(土)
2月 23日(木)	2月 4日(土)・18日(土)
3月 8日(木)・22日(木)	3月 5日(月)・17日(土)

なお、ご相談された内容につきましては、秘密厳守になっておりますのでご安心ください。

東明館学園 教育相談室
中田 裕見子

教育相談室直通電話 ☎ 0942-81-7152

保護者相談窓口
東明館ホットライン

校長・副校長が相談窓口の電話に出ます!!

こちらの番号にお問い合わせ下さい ☎ 0942-81-7151 (受付時間) 13:00～15:00

台風・大雨の時はこちら

携帯からも東明館HPの連絡用掲示板がご覧いただけます。

QRコードを利用するか、下記のアドレスを登録して下さい。



http://www.tomeikan.ed.jp/cgi-bin/MT/index.cgi